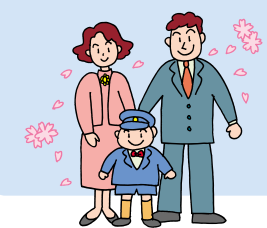


【全国一律のサービス】

職員の慶事のお祝いに

- 結婚祝い品 贈呈 //
- 資格取得記念品 //
- 出産祝い品 //
- 永年勤続記念品 //
- 入学祝い品 //



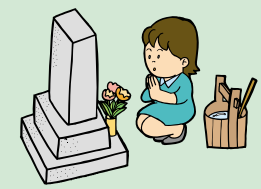
職員のリフレッシュのために

- 指定保養所・会員制リゾート施設
- 海外リフレッシュツアー
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク 割引
- レンタカー //
- 国内・海外旅行 //
- 全国提携宿泊施設



職員の万が一に際して

- 会員死亡弔慰金
- 入院・手術見舞金
- 高度障害・後遺障害見舞金
- 災害見舞金
- 配偶者死亡弔慰金



魅力ある職場づくりにソウェルクラブがお役に立ちます。会員へ様々なサービスを提供しています。

♪ソウェルクラブだから
こんなにサービスがある♪

職員の健康管理について

- 健康生活用品給付
- 電話健康医療相談
- 生活習慣病予防検診費用助成
- スポーツクラブ



職員の資質向上のために

- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会
- 海外研修



職員の生活面をサポートするために

- 特別資金ローン
- 特別提携住宅ローン
- クレジットカード
- ソウェル積立保険
- ソウェル団体生命保険
- ソウェル傷害保険
- ソウェル入院保険
- ソウェルがん保険
- ショッピング
- スポーツ・カルチャー

※申請漏れはありませんか？まだの法人・事業所はお早めに!!

【沖縄県独自のサービス】

☆同じ福祉の職場で働く仲間との交流を図るために☆

ソウェルクラブおきなわ会員交流事業

- 旅行への助成
- コンサート・ミュージカル・スポーツ観戦等への助成
- チケットの配布(映画鑑賞券等)への助成
- パソコン講習会の開催
- 入学祝金贈呈事業(離島のみ対象)



加入申込み
お問合せは

沖縄県福祉人材研修センター
ソウェルクラブおきなわ事務局

☎098-882-5703 (担当:渡嘉敷)

福祉の職場

福祉の就職総合フェア 2009

説明面接会

一人ひとりのやさしさと思いやりが身につく仕事です。

参加費 無料

平成21年 1月15日

場 所 沖縄コンベンションセンター(展示場)

受付開始 12時30分(受付終了15時30分)

開催時間 13時~16時

※当日は人材研修センター・名護市福祉人材バンク内での無料職業紹介事業はお休みいたします。

参加対象

- 福祉職場へ就職を希望される方
- 各学校の進路指導担当者・就職担当者
- 社会福祉施設・団体等

参加方法

- 当日直接会場にお越しください。

内 容

- 求人施設面談コーナー
就職希望者が福祉施設の採用担当者や面接できます。
- 各種相談コーナー
ハローワークコーナー・ナースセンターコーナー
各種職能団体コーナー・総合相談コーナー

お問い合わせ先

沖縄県福祉人材研修センター

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1(沖縄県総合福祉センター内)

TEL (098) 882-5703 FAX (098) 886-8474

E-mail jinza@okishakyo.or.jp URL http://www.okishakyo.or.jp

主 催 沖縄県・沖縄県社会福祉協議会・福祉人材研修センター・名護市社会福祉協議会・福祉人材バンク

後 援 沖縄労働局・ハローワーク(公共職業安定所)・沖縄県看護協会・沖縄県介護福祉士会・沖縄県社会福祉士会・沖縄県精神保健福祉士協会・沖縄県理学療法士会・沖縄県作業療法士会・沖縄県言語聴覚士会



▲表彰式の様子

～支え合いと協働で、地域の福祉力を高めよう～ 第51回沖縄県社会福祉大会

第51回沖縄県社会福祉大会(沖縄県、県社協、県共募の主催)は、10月28日(火)、沖縄コンベンションセンター劇場棟において、1,300人余の福祉関係者の参加を得て開催された。

式典では、主催者を代表して新垣雄久・大会長の式辞、県知事(代読)・仲里副知事が挨拶し、県知事と大会長から、多年にわたり社会福祉の発展に功績のあつた個人・団体(208人、6夫妻、16団体)への顕彰が行われた。その後、来賓を代表して、玉城義和・



県議会議長・宮城篤実・県町村会長の祝辞を述べられた。大会宣言として、地域住民のつながりの再構築と、住民と行政の協働活動による支え合いの仕組みづくりにより、一層取り組むことが採択された。

式典の後、「メタボリックシンドロームから腎臓病・心臓病へ：沖縄の危機」と題し、医療法人秀明会田仲医院長の田仲秀明氏に記念講演をいただいた。講演では、長寿県と知られていた沖縄県が、2002年12月に発表された平均寿命において男性が26位へ下落した背景や原因、そしてメタボリックシンドロームと県民の生活習慣がどのように密接に関わっているのかを丁寧に説かれ、沖縄、日本全体の危機を予見され、生活習慣病(肥満予防)や禁煙運動、健康長寿日本一を取り戻すための最大の力は医療ではなく教育であると、その重要性を喚起された。参加者からの活発な質疑応答もあり、関心の高さが伺えた。

就業体験を通して

鏡が丘養護学校 高等部3年 大城 葵

私は一週間沖縄県社会福祉協会で実習を行い、一週間6つの部署でいろいろな業務を体験し、福祉について学ぶことができました。

私は実習に来るまで「社会福祉協議会」がどのようなものなのかあまりわからなかったのですが、各部署の担当者の方から社協についてや、業務説明を聞き「社会福祉協議会」がどのようなものなのかを知りたい機会となりました。また、業務体験では、各部署で様々な役割があり、一つ一つの作業は単純でも量が多い仕事もあるため、少し大変な部分もありましたが、担当者の方が優しく教えてくれたのでコミュニケーションをとりながら楽しく仕事をこなすことができました。

高校を卒業し短大に行き、将来は何らかのかたちで福祉関係の仕事に就いて、私と同じように障害を持った方々が暮らしやすいように同じ立場からみていろいろな足りない部分をすこしでも改善できたらいいなと考えています。とてもいい経験になりました。また何か機会があればよろしくお願いします。

インターンシップ (就業体験)受け入れ

沖縄県社会福祉協議会では、11月10日から21日の間の計7日にわたり、就業体験実習生を受け入れました。

実習生の大城葵さんには、就労に必要な基礎的な知識や、福祉職に対する理解を深めるため、地域福祉部を主体に5つの部署での業務を体験してもらいました。体験を通して、仕



▲作業中の大城葵さん

事内容、職場の雰囲気などを知ってもらえたと思いますが、受け入れ側としても体験生から刺激を受け、得るものも多くありました。